

平成 27 年 9 月 1 日

報道関係各位

東京建物株式会社

大手町に約 3,600 m²の本物の森を整備 「大手町の森（大手町タワー）」が 『SEGES 都市のオアシス 2015』に認定

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：佐久間 一）は、当社が開発し、運営管理を行っている「大手町タワー」（東京都千代田区）の緑地空間「大手町の森」が、公益財団法人都市緑化機構が主催する『SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム）：都市のオアシス 2015』に認定されたことをお知らせします。

「都市のオアシス」とは、地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和、地域生態系の保全、良好な景観の保全と創出、地域社会とのコミュニティ醸成や安心・安全なまちづくり等、社会や環境に貢献している優良な緑地空間を「都市のオアシス」として、2013年度から公益財団法人都市緑化機構が審査規定に基づき、「環境への配慮」「安全性」「公開性」の点で優れ、人々に安らぎと憩いを与える環境資源と認められた緑地を認定するものです。

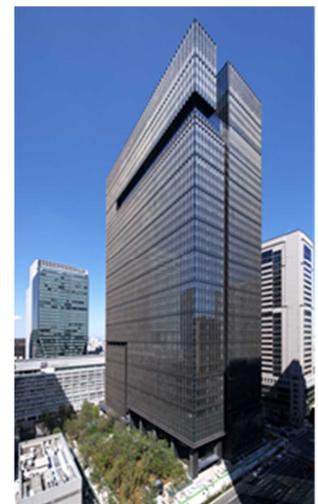


「大手町の森」は「大手町タワー」（平成 26 年 4 月全体竣工）に、「都市を再生しながら自然を再生する」という開発コンセプトを具現化すべく創出された広大な緑地空間です。その規模は敷地全体の約 3 分の 1 に相当する、約 3,600 m²にも及びます。

【高く評価されたポイント】

- ・「都市の再生とともに自然を再生する」というコンセプトのもとに、超高層ビルの足元の公開空地約 3,600 m²に本物の森を再生したこと。
- ・都市内のクールスポットとして、また生態系ネットワークのアイランドとして、さらには、雨水の流出遅延をもたらす一次貯留場所として、大きな効果をもたらしていること。
- ・植栽樹木の生育状況調査をはじめ、各種生物の生息調査等も行われており、今後、これらのデータを活用し、都市における新たな緑化スタイルとして、期待出来ること。

東京建物では、グループ環境方針「緑あふれる潤いのある街・暮らしの創造」「地域をリードする温暖化防止」「地域に優しい省資源活動」「環境意識の高い社員づくり」のもと、今後も持続可能な社会づくりに向け、環境に配慮した事業活動を進めてまいります。



【物件概要】

所 在 東京都千代田区大手町一丁目 5 番 5 号
地域地区 商業地域、防火地域
 大手町・丸の内・有楽町地区地区計画、東京都市計画都市再生特別地区
敷地面積 11,037.84 m²
延床面積 約 198,000 m²
階 数 地下 6 階・地上 38 階・塔屋 3 階
高 さ 約 200m
構 造 地下：鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造／地上：鉄骨造（超高強度 CFT 柱）
用 途 事務所・ホテル・店舗・駐車場等
設 計 大成建設株式会社
施 工 大成建設株式会社
植栽施工 内山緑地建設株式会社
竣 工 平成 25 年 8 月一次竣工（全体竣工は平成 26 年 4 月）

【大手町の森の取組み】

ビジネス街に本物の森を再現するため、「プレフォレスト」という手法を採用しました。千葉県君津市の山林 1,300 m²（大手町の森全体の約 3 分の 1）に、地下躯体や土の起伏、樹木の密度や種類など、計画地と同等に施工し、植物の生育状況や適切な管理方法など、約 3 年に亘る検証を行い、本敷地に移植しました。

また、地域生態系の攪乱を避けるために、計画地の潜在自然植生に配慮した樹種選定を行い、気候風土が同じ関東圏域から全ての高木を集め、人工地盤上に、深さ 0.9m～1.6m もの土厚を確保し、木々が根を張り健全に生育できる基盤を整備しました。これにより、大手町の森は、地域に根付いた生態環境を実現しています。

大手町の森は、緑豊かな自然の森が、木漏れ日の差す緑のキャノピーを形成するとともに、木々の蒸散作用や土壌の保水作用で都心のクールスポットをつくり、都心のヒートアイランド現象緩和に貢献するだけでなく、豊かな生物相を持つ皇居の緑地からこの森へ生き物たちが行き交う生態系ネットワークを形成し、生き物に快適な生息地を提供しております。

【大手町タワー・大手町の森に関する認証実績一覧】

平成 25 年 11 月 「DBJ Green Building 認証」の最高ランクである「プラチナ」の認証
平成 26 年 2 月 「いきもの共生事業所[®]認証制度（都市・SC 版）」の第 1 号認証を取得
平成 26 年 10 月 第 30 回 都市公園コンクールで最高位「国土交通大臣賞（企画・独創部門）」を受賞

以 上